

## 新庁舎整備の事業方針について

千葉市では、新庁舎整備調査特別委員会から提出されました「新庁舎整備の進め方に関する要望書」（平成29年11月）の趣旨を踏まえ、基本設計に基づく概算事業費（約307億円）をはじめ、建替え事業に対する国の財政支援、社会経済情勢などを総合的に勘案し、平成30年度から、設計・施工一括発注によるDB（デザイン・ビルド）方式により、整備に向け事業に着手する方針を決定いたしましたので、お知らせします。

### 1 基本設計の概要

- (1) 敷地面積 約2万9,000 m<sup>2</sup>
- (2) 建物概要 構造：鉄骨造（基礎免震）、建築面積：約6,800 m<sup>2</sup>、  
延床面積：約4万9,400 m<sup>2</sup>、階数：高層棟 11階、低層棟 7階
- (3) 整備コスト 概算事業費 約307億円  
(建設工事費 約263億円、建設工事以外 約44億円)
- (4) ランニングコスト 年間約4億円（維持管理費、光熱水費）

### 2 事業手法

PFI等導入可能性調査に基づき、各事業手法を検証した結果、DB方式が早期着工が可能であり、かつ最も竣工までの工期が短く、VFM（直接施工と比べた費用縮減）が出る結果となった。

（VFMの算定結果）

区分	直接施工	DB方式	PFI方式 (BT0)
市負担額	34,437 百万円	32,975 百万円	34,305 百万円
VFM		1,462 百万円 4.25%	232 百万円 0.67%

### 3 今後のスケジュール（予定）

- 平成30年4月以降 DB事業者の選定
- 31年3月 DB契約締結